



国際ロータリー 第 2500 地区 第3分区

Asahikawa Morning Rotary Club

旭川モーニングロータリークラブ 会報



世界へのプレゼントになろう

ホームページ <http://www.asahikawamrc.com/>

2015~2016年度(第23期) 会長：高見 一典 幹事：宮永 憲一

2月の月間テーマ **平和と紛争予防-紛争解決月間**

第 1071 回 例会 No.30

平成28年 2月 25日 (木) 18:30~20:30

場所 アートホテルズ旭川 15F シャルム

夜間例会(9)

夜間例会並びにオリエンテーション

時間 スケジュール

受付



アートホテルズ旭川・15階シャルムからの旭川市内・夜景

18:30 開会宣言

坂本信一 SAA



” 只今より
旭川モーニングロータリークラブ
第1071回例会を開催致します。”
” 高見一典会長
点鐘をお願い致します。”



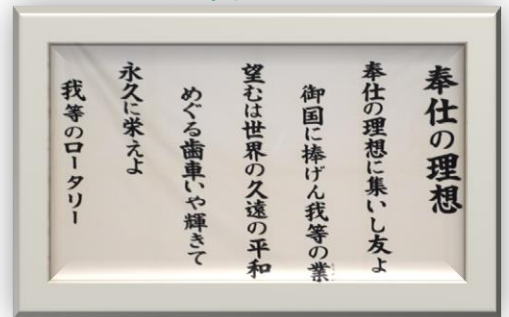
受付左から坂本・飯塚会員・林事務局・竹村会員

♪ 奉仕の理想 ♪

18:31 点 鐘



高見一典会長点鐘・嵯城俊明幹事代役



本日の
”四つのテスト”は飯塚達夫会員です。
飯塚会員お願い致します。

18:32 ロータリー
ソング

18:34 四つのテスト
唱和



時間	スケジュール		高見一典会長
18:35	会長挨拶	<p>お晩でございます。最近では日本列島に寒波が押し寄せ、本市も厳しい寒さが連日続いており、春が遠のいている感じが致します。</p> <p>今夜は2月最後の例会ですが、夜間例会とし終了後は組織委員会・研修委員会担当によりますロータリーに関するオリエンテーションも開催致します。</p> <p>会員皆様にはお仕事を終え、大変お疲れのところご参加を頂き心から深く感謝申し上げます。事務的な連絡になりますが、4月2日(土)にはIM、4月24日(日)には北見市にて地区協議会、さらに翌月5月15日(日)にはシスタークラブの川口モーニングロータリークラブ創立30周年記念式典が予定されておりますので、すでに開催案内が届いていると思いますが、多くのご参加をよろしくお願い申し上げます。</p>	
18:38	会務報告	<ol style="list-style-type: none"> 1) 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より、「ハイライトよねやま191」並びに「インターネットバンキングを利用したご寄付についてのアンケート結果」 收受。 2) 旭川市内6ロータリークラブより、会報1月分 收受。 3) 一般財団法人日本国際飢餓対策機構より、飢餓対策ニュースNo.307 收受。 4) 旭川市暴力追放運動推進協議会より、「民暴相談のしおり」 收受。 5) 3月中市内他ロータリークラブ例会変更通知(別紙配布) 	嗟城俊明幹事代役 
18:39	1月の川柳結果発表	景品の都合上(2次会)、次期例会に改めて合わせて発表と景品贈呈致します。	
18:40	3分間スピーチ  <i>start</i>	<p>「求人」と「親の雑誌」</p> <p>うちの会社のことですが、高齢化がかなり進行してしまっていて、以前から若手の採用に迫られているところです。先日、たまたま飛び込みでやってきた、求人代行の会社マイナビに初めて依頼してみました。経費はそれなりにかかりますが、感心したのは、当社のことを紹介する文章を、ほんの1時間程度のインタビュー取材から聞き出して上手にまとめてくれたことでした。実はこちら側でも、ある程度は会社の魅力と思われるものを考えて、原稿にしなければいけないのだろうと思っていましたから、助かりました。</p> <p>ところで話は変わりますが、先日テレビの番組「がっちりマンデー」で、新しいビジネスのことを知りました。それは「親の雑誌」というものです。どういうものかと言いますと、親に自分自身の半生を本にまとめてもらうものです。いわゆる自費出版のひとつです。ただし出版社に依頼するのは子供のほうです。サービスを受ける親は出版社のインタビュー取材を半日ほど受けて、思い出を自由に語り、それを元に編集製本するものようです。普通の自費出版と違い、インタビューに応じて昔の話をするうちに、忘れていた思い出がよみがえったりして、非常に楽しげでした。このビジネスの新しいところは、自費出版が自分自身のことではなく、親へのプレゼントとして贈られる点です。発行部数は少数が前提のようです。費用をネットで調べてみたら、1冊16ページを5冊でわずか7万円ほど。旅行のプレゼントに十分対抗する価格ですね。年配者は、ただ話を聞いてもらうだけでも、喜ぶものですから、親が存命中のかたは、検討されてはいかがでしょうか？また、ご自身の終活と考えてもいいかもしれません。</p> <p>ところで、前回の3分間スピーチでお伝えした、当社のセーフティラリーの結果を報告いたします。ラリー初日の朝礼で、さー安全運転やるぞーと号令をかけたときには、すでに違反者が出ておりました。無残な結果となりました。20名中3名脱落ということで、お粗末様でした。無念です。簡単そうで難しい取り組みですね～</p>	飯塚達夫会員 
18:43	 <i>stop</i>	以上です。ありがとうございました。	
18:45	食事と懇談	 <p>15階 シヤルムにての食事と懇談</p>	 <p>dinner menu</p>

18:55 会務報告



15階 シャルムにての食事と懇談

15階 シャルムにての食事と懇談

19:00 ニコニコ
ボックス

本日はございません。

平成28年2月25日現在 累計金額 **金241,500—円**

19:02 出席報告

河崎高麗男クラブ運営委員長



※マークアップ（敬称略）

- 2月18日 石川千賀男（旭川東RC）
- 2月19日 飯塚達夫・木村和哉・
福居恵美子・宮永憲一
（旭川東RC）
- 2月24日 石川千賀男・今井孔太・
武田昭宏（旭川北RC）
- 2月25日 木村和哉（旭川東北RC）

	第1071 回例会	総員 26 名
本日の出席	2 月 2 5 日	出席 1 9 名
	出席率	73.08%
修正出席	2 月 1 1 日 例会は、休会（祝日）のため、修正出席はございません	
今年度（23期）実績平均出席率 （2 月 4 日迄）2 8 回		89.47%

19:05 伝達事項

高見一典会長

社会福祉法人「旭川ののちの電話」に広告協賛金として当クラブから毎年1万円拠出させて頂いており、28日（日）の道新朝刊に掲載されるとのことです。

例会開催前の臨時理事会にて当クラブ細則改正案で協議し、大きな改正点は理事者数を現8名から11名に改正、4大委員会に広報委員会を追加し5大委員会に改正する点です。改正案を会員皆様にメール配信致しますのでご確認頂き、3月10日例会時にご承認頂ければと思います。尚、その例会時には吉良ガバナー補佐が来訪致します。最後に協議案件として、挨拶で述べましたように4月24日（日）の北見地区協議会参加において、交通機関を東RC・東北RCと3クラブ合同バス利用の提案を先だつての3クラブ夜間合同例会時に受け、先ほどの理事会では過去の経緯はありますが、今回は3クラブ合同バス利用が良いのではということになりましたが、皆様に取り計らいます。異議が無く賛成ということですので、そのような形で取り進めご案内申し上げます。

19:10 閉会宣言
点鐘



高見一典会長点鐘・嵯城俊明幹事代役

第1回会員オリエンテーション 「ロータリアンとしての基礎知識と勉強会」

19:10 司会
挨拶

司会
石川千賀男会員研修委員 小柳裕子会員組織委員長



ご挨拶

あらためまして皆様お晩でございます。本日は今年度第一回目のオリエンテーションという事で会員研修委員会のほうでご準備して頂きました。ありがとうございます。気が付けば私も入会致しまして8年に成ろうとしておりますが初心に帰りましてローターを学びたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

19:20 ロータリー
組織・歴史
特典



今井孔太親睦委員

ロータリアンの組織・歴史・特典について

19:40 ロータリー
目的

ロータリアンの目的（旧「ロータリアンの綱領」）

ロータリアンの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。付記：「ロータリアンの目的」の4つの項目は、等しく重要な意味を持ち、また同時に行動を起こさなければならないものであるということで、RI理事会の意見が一致している。

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。

奉仕部門

ロータリアンの目的に基づく奉仕部門は、ロータリアンの精神的な礎であり、クラブ活動がよりどころとする基盤です。

・クラブ奉仕は、親睦活動とクラブの機能を充実させることを主眼とします。 ・職業奉仕は、ロータリアンが自らの職業を通じて人々に奉仕し、高い道德水準を実践することを奨励します。

・社会奉仕は、地域社会の人々の生活の質を向上させるためにクラブが行うプロジェクトや活動です。

・国際奉仕は、世界中におけるロータリアンの人道的な活動を広げ、世界理解と平和を推進する活動を含んでいます。

・青少年奉仕は、指導力養成活動、奉仕プロジェクト、交換プログラムを通じて、青少年と若者による好ましい変化をもたらすものです。

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。

四つのテスト

以下の問いから成る「四つのテスト」は100カ国語以上に翻訳されています。

言行はこれに照らしてから

1、真実かどうか 2、みんなに公平か 3、好意と友情を深めるか 4、みんなのためになるかどうか

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。

使命

国際ロータリアンの使命は、他者に奉仕し、高潔性を推進し、事業と専門職務および地域社会のリーダーの間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進することです。

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

多様性とロータリアン

国際ロータリアンは、個々のクラブにおける会員基盤の多様性が重要であることを認識しています。会員に関する現行の指針の下、会員としての資格を備えた人々が地元地域にいるかどうかを調べ、幅広い層の入会者を迎え入れるよう、

嵯城俊明会員研修委員



ロータリーはクラブに奨励しています。職業、性別、年齢などの面で地域の人口構成を反映したクラブは、未来にさらに発展していくでしょう。

19:50
ロータリー
四つのテスト

四つのテストを考える

ロータリーの目的、職業宣言、四大奉仕の定義がロータリーの奉仕の理念とその実践を示すものであるのに対し、四つのテストは日常の商取引・産業活動におけるロータリアンの言行の自己評価のためのテスト形式の規準として導入されたものであります。ただ、新入会員にロータリーを最初に説明するときに、四つのテストがよく使われるように、このテストの邦訳には、ロータリー精神が、ロータリアンのみならず一般の職業人にも理解できるような形で、簡潔かつ的確にまとめられています。ロータリークラブあるいはロータリアンが理念の実践を通して社会に対する真実のとし火となる時の重要な規準となるといっても過言ではないでしょう。

四つのテストの英語の原文は次のとおりです

The Four-Way Test Of the things we think, say or do

1. Is it the TRUTH ?
2. Is it FAIR to all concerned ?
3. Will it build GOOD WILL and BETTER FRIENDSHIP ?
4. Will it be BENEFICIAL to all concerned ?

1番目のIs it the TRUTH ?の邦訳は「真実かどうか」です。ただ、この訳で、真実とは嘘偽りのない本当のことというように単純に考えるのではなく、次節でのべるように、もう少し深く考えて、「物事の原理・原則、根本原理に合っているかどうか」と理解するのがよいと思われま

す。2番目のIs it FAIR to all concerned ?のFAIRは、人々に対して、その場の状況に応じて、私的感情をあまりまじえずに、偏り無く対処することを意味しますので、この文章の邦訳は「みんなに公平か」よりは、田中毅氏の言われる「みんなに公正か（みんなに公正に対処しているか）」の方が原文の意味を適切に伝えてい

ると思われま

す。真実は、時として信念の要素を含むことがあります。それが相手を困らせることが無いような配慮も要するというを、言外ににじませていると言えないこともありません。四つのテストは商取引に関連して作られたものであり、all concerned は取引先のことなのに、四つのテストの邦訳は all concernedをall と同じに捉えている、という田中毅氏の指摘は、このテストの使用を商取引に限るのであれば、全く正しく、反論の余地はありません。しかし、ロータリーの会員にはその職業が商取引には直接関係しない人達

がかなりいることや、四つのテストが商取引以外の場でも使われる可能性が高いことを考慮すれば、ロータリアンの日常生活のすべての言行に適用できる邦訳「みんなに公平か」の方が適切とも考えられます。3番目のWill it build GOOD WILL and BETTER FRIENDSHIP ?は「自分の考え、意見、行いが他との好意・友情を一層密にするか」という問いかけであり、他の人々と付き合うときの、ごく自然で基本的な対処の仕方でありま

す。ここではある程度の私的な感情がまざるのはやむを得ませんが、大事なことは、それが他を排除するものであってはならないということです。4番目のWill it be BENEFICIAL to all concerned ?のBENEFICIALは、四つのテストを商取引のみに関連するものと考えれば、「利益をもたらす」という形容詞になりますが、ここでは、上にも述べたような理由で、もっと広い意味に考

えて、「役に立つ」と訳した方がよいと思われま

す。したがって、この文章の邦訳は、現行の「みんなのためになるかどうか」で良いことになりま

す。道徳的な基準は、自分が何かを行うときの他への態度の規

範でありま

す。それは当然、相手もそれに反応しやすく、何かを行

いやすいための配慮を含んでいなければな

りませ

ん。これこそが「みんなのためになるかどうか」であると考えられま

す。「好意と友情を深めるか」の判断で私的な感情が強く入り過ぎないように戒めているという解釈もできま

す。いずれにしても、ロータリアンの言行は「この四つの問いのすべてに『イエス』と答えられるものでなければなら

ない」ということを忘れてはな

りませ



オリエンテーション

20:00

20:10
ロータリー
米山・財団
国際奉仕

河崎高麗男会員研修委員 米山・財団の理解と国際奉仕



財団・米山と言いますと皆さん寄附（お金）ばかりとの印象が強いようですが、良く考えて診て下さい。私たちは国際ロータリーに加盟するロータリークラブでありロータリアンなんです。「**世界で良い事をしよう**」の合言葉で奉仕活動をしているわけでありです。国際ロータリーは今120万人のリーダーや職業人が集まれば、地域社会や世界の大きな問題に取り組むことができる。そう信じて、ロータリーでは、同じ価値観とビジョンを共有しあう会員が一体となり、切実なニーズを抱える人びとをできるだけ多く、しかも長期的に支援できるような分野に力を注いでいる訳です。本日は、米山および財団についてそれぞれの活動についてお話ししていきたいと思ひます。

ロータリー米山記念奨学会について ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国ロータリアン（ロータリークラブ会員）の寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する民間の奨学団体です。目的は、将来、母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。ロータリー米山奨学生は、ロータリークラブを通して日本の文化、習慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の造と維持に貢献する人となることが期待されます。

米山記念奨学会の誕生 米山奨学事業は、日本最初のロータリークラブの創立に貢献した実業家米山梅吉氏の功績を記念して発足しました。1952年に東京ロータリークラブで始められたこの事業は、やがて日本の全クラブの共同事業に発展し、1967年、文部省（現在の文部科学省）の許可を得て、財団法人ロータリー米山記念奨学会となりました。『**何事も人々からしてほしいと望むことは人々にもその通りせよ**』これは米山梅吉氏の願ひでもあり、ご自身の生涯そのもので「他人への思いやりと助け合い」の精神を身もって行いつつ、今後、日本の生きる道は平和しかない。それをアジアに、そして世界に理解してもらうためには、一人でも多くの留学生を迎え入れ、平和を求める日本人と出会い、信頼関係を築くこと。それこそが、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないか』——と事業創設の背景には、当時のロータリアンのこのような思いがありました。それから60年余の歳月が流れましたが、『民間外交として世界に平和の種子を蒔く』という米山奨学事業の使命は一貫して変わっていません。むしろ、今日の世界情勢と日本の置かれている状況を考えるとき、その使命はますます重要性を増しているのではないのでしょうか。留学生への支援は、未来に向かって平和の懸け橋をかける尊い奉仕なのです。ロータリー米山奨学生は、ロータリークラブを通して日本の文化、習慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人となることが期待されます。

ロータリー財団について 1917年、アーチ C. クランフ R I 会長が「自分のために生きるのではなく、他者に奉仕する喜びのために生きるべきです」「世界でよいことをするために」と基金の設置を提案。この基金が1928年に「ロータリー財団」と名づけられて国際ロータリー内の新しい組織となり、現在のロータリー財団にいたっています。

財団の成長 1929年、財団は初の補助金500ドルを国際障害児協会へ贈りました。この協会は、ロータリアンだったエドガー F. “ダディー” アレンが創設したもので、後に「イースター・シールズ」（米国の慈善団体）となりました。ロータリー創設者のポール・ハリスが亡くなると、多くの人びとから国際ロータリーに寄付が寄せられました。この寄付は「ポール・ハリス記念基金」となっており、その後のロータリー財団の発展のために役立てられました。

財団プログラムの変遷 1947年 財団初のプログラム「Fellowships for Advance Study（高等教育のためのフェロウシップ）」を開始。このプログラムは後に「国際親善奨学金」として知られるようになる。1965～66年 財団が新たに「研究グループ交換（GSE）」「Awards for Technical Training（技術研修のための補助金）」「Grants for Activities in Keeping with the Objective of The Rotary Foundation（ロータリー財団の目的を果たす活動のための補助金、後の「マッチング・グラント）」の3つのプログラムを開始。1978年「保健、飢餓追放、人間性尊重（3-H）補助金プログラム」を開始。3-H補助金のプロジェクト第一号として、フィリピンの600万人の子どもたちにポリオの予防接種を実施。1985年 全世界でポリオの撲滅をめざす「**ポリオプラス・プログラム**」を設置。ロータリーは、フィリピンの子どもたちにポリオ予防接種をはじめて以来、**パートナー団体**とともに懸命に活動を続け、全世界でポリオの発症数を99.9パーセント減らすことに成功しました。1987～88年初めての平和フォーラムが開催され、これが「**ロータリー平和フェロウシップ**」創設のきっかけとなる。2013年世界中のロータリアンがグローバルなニーズに応えられるよう、新しい補助金モデル（**地区補助金、グローバル補助金、パッケージ・グラント**）を導入。1917年に26ドル50セントの寄付から始まったロータリー財団は、10億ドル以上の寄付を受けるほどの大きな財団に成長しました。財団はこうして多くの方々を支えられ、人道的分野や教育面での支援活動を続けています。次年度2016～17年度はロータリー財団が**創立100年**を迎えます。重点分野 地元地域や世界のために、持ちうるリソースを最大限に生かしたい。そう願うロータリーは、これまでの長年の経験から、もっとも大きく、持続可能な成果をあげられる以下の**6つの分野**に重点を絞って活動しています。1. 平和の推進 2. 疾病との闘い 3. きれいな水の提供 4. 母子の健康 5. 教育の支援 6. 地元経済の成長 ● 平和を推進する >> 紛争の構造的な原因に取り組むロータリープロジェクト 「**平和と紛争予防／紛争解決**」を支援する活動の一つが、世界の有名大学に設置された「ロータリー平和センター」です。紛争や迫害により6000万人が難民となっている現在、平和のために活動する人材が必要です。ロータリー平和センターでは、紛争の予防や解決に必要な専門的スキルを教え、長期的な平和構築のために活躍できる人材を育てています。毎年、最高100名までのフェローが選ばれ、世界各地の提携大学に設置されたロータリー平和センターの修士課程または専門修了証コースで学び、専門教育を受け、実践的な知識やスキルを身につけたフェローたちは、卒業後に多方面で活躍し、スーダンの難民支援、インドの女性のための雇用機会創出、紛争や災害後の復興支援といったさまざまな活動に携わっています。● 疾病と闘う >> 低コストの医療を提供するロータリープロジェクト 「**疾病予防と治療**」では、発展途上国で多くの人びとが質の高い医療を低コストまたは無料で受けられるよう、支援活動を行っています。高額な医療費のために毎年1億人以上が貧困に陥っている中、ロータリーは主な感染症（ポリオ、HIV／エイズ、マラリアなど）について正しい知識を広め、病気の予防・治療を支援しています。医療関係者のスキル向上を助けるのも、そうした活動の一環です。ロータリーは、1979年にフィリピンの子どもたちにポリオ予防接種をはじめて以来、**パートナー団体**とともに懸命に活動を続け、全世界でポリオの発症数を99.9パーセント減らすことに成功しました。今、あと少しでポリオを撲滅できるところまでできています。2015年に、世界でポリオが常在している国は、ナイジェリア、パキスタン、アフガニスタンの3か国のみです。今日、ワクチンがなければ麻痺が起こったかもしれない1,000万人以上の人が歩いていません。ポリオの予防接種活動中に組織的にビタミンAを投与することで、推計150万人以上の小児の死亡を防ぐことができました。**ポリオ根絶のさらなる利点** ポリオが根絶されると、人々が住んでいる場所にかかわらず、世界的な公衆衛生上の偉大な成果の恩恵を受けることができます。経済学的なモデルでは、ポリオが根絶されると、ほとんどの低所得国で、その後20年間に少なくとも40億米ドル～50億米ドルの経費削減になると推計されています。最も重要なのは、ポリオの根絶に成功するという事は、ポリオによって生涯にわたって麻痺に苦しむ小児がいなくなること

20:20

ということです。●きれいな水をもたらす >>綺麗な水と衛生設備を持続的に提供するためのロータリープロジェクト「水と衛生」世界には、十分な衛生施設を利用できない人びとが25億人以上います。また、汚染された水で下痢疾患を患い、命を落とす子どもたちが毎日3,000人いると言われてしています。「水と衛生」では、地域社会が長期的に水を確保し、衛生施設を維持できるよう支援するほか、水と衛生に関連する研究支援・人材育成にも力を入れています。当クラブではD3330タイ・カンチャナブリRCを支援、2014～15年度、小学校15校に水の浄化装置設置事業を執り行いました。●母子を助ける >>母子と健康に医療を提供するロータリープロジェクト「母子の健康」では、妊産婦や子どもたちの健康の改善に努めています。世界では、毎年700万人以上の子どもたち（5歳未満）が栄養失調、不健康、不衛生のために命を落としています。このような現状を改善するため、乳幼児への予防接種、基本医療の提供、産婦人科・小児科を専門とする人材育成に加え、現地の人びとが自らの手で医療研修プログラムを継続できるよう支援しています。当クラブでは2006～09年度D3400インドネシア・スラバヤRCを支援、母子の健康プロジェクトを実施いたしました。●教育を支援する >>ロータリープロジェクト「基本的教育と識字率向上」では、地域社会で教育を提供する体制を整え、教育の性差別をなくし、成人に対する識字教育を支援しています。全世界6,700万人の子どもたちが教育を受けられず、7億7,500万人の人びと（15歳以上）が読み書きをできない現状も、こうした一つひとつの取り組みで改善することを目指しています。●地元経済を発展させる >>ロータリープロジェクト「世界には仕事に就いているにもかかわらず、1日125円未満で暮らさなければならない人が14億人近くいます。「経済と地域社会の発展」では、地域経済の発展を促し、人びとが生産的で十分な対価を得られる仕事に就けるよう支援しています。貧しい地域で、現地の起業家（特に女性）を応援し、地域のリーダーを育てる活動も行っています。以上の6つの分野に重点を絞って今年度から新しいロータリー月間としてクラブに理解と行動求めています。ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することです。ロータリー財団への支援を快く、アーチ C. クランプが「自分のために生きるのではなく、他者に奉仕する喜びのために生きるべきです」「世界でよいことをするために」の言葉を目標に、ロータリー財団もロータリー米山記念奨学会に対する寄付金は所得控除または税額控除の対象となっておりますので、「世界でよいことをするために」ご理解の上ご支援を宜しくお願い致します。

20: 25



オリエンテーション



オリエンテーション

20: 30 閉会

高見一典会長より総評
オリエンテーション 閉会の挨拶

